



「ご復活、
おめでとうござります。」

京丹ブロック担当司祭 崔 聖煥

編集・発行
カトリック
桂教会
広報部

Vol. 9
2018
復活祭号

復活祭をふ
さわしく迎え
るため、わた
したちはたく
さん準備をし
てきました。
断食、祈り、
ほどこし、犠
牲、十字架の

道行など、復活の喜びをもつと深く感じるため
にいろいろなことに励んできました。いよいよ
復活祭を迎える、「ご復活、おめでとうございま
す。」とお互いにあいさつするでしょう。この
あいさつにどのような気持ちをこめているので
しょうか。

主の復活をおめでとうという言葉を自分とは
関係ないよう言えど、それは復活祭の正しい
あいさつではありません。キリストの復活はわ
たしたちの復活とつながっていて、それがまさ
にわたしたちの救いを意味するからです。死に
打ち勝ったその偉大な出来事が、今自分自身に
どんな意味があるのか、これから自分の生涯
にどんな影響を与えてくれるのか、それを注意
してみるべきです。今までの自分とは違つて、
復活されたイエス様とともに自分に与えられた
新しい命の道を歩まなければならぬです。つ



まり、自分の復活も考えて、復活のあいさつを
するのです。だから、「(あなたの)ご復活、
おめでとうございます」と、このような気持ち
をこめてあいさつしたほうがいいのではないか
と思います。

皆さん、復活の朝、マグダラのマリアについて
ていつてみましょう。信じられない三日間、朝
早くお墓に向かい、遺体がなくなつて驚き、復
活されたイエス様と出会つた時の喜び。本当に
劇的な流れです。ところで、復活されたイエス
様が彼女に言われたのは「わたしにすがりつく
のはよしなさい。」ということでした。ある意味
でこれが復活の意味ではないかと思います。

信仰は過去の素晴らしい経験や思い出に留
まつてることではないです。もちろん今の自
分がいるように

してくれた過去
は大事ですが、
過去のことに執
着するのはよく

ないです。マグ
ダラのマリアは
3年間イエス様
について、いつ
て、目撃し、経
験したことがあ
まりにも懐かし
かつたのです。

彼女がイエス様
を通すがり
つこうとしたの





愛する友達である皆さん。復活されたイエス様の声に耳を傾けてみましょう。「わたしは昔のわたしではない。昔のあなたのままでしたら、わたしにふさわしくない。あなたも昔のあなたではないよう。に頑張りなさい。そうすれば復活したわたしを改めて認識することができるし、あなたも復活できる。恐れることははない。わたしはいつもあなたとともにいるから。」

自分の復活を考え、そして皆が復活して、復活されたイエス様に出会つたことを祝つて、もう一回言いましょう。